

- と女性群像』2006.3.30. 福岡女子大学文学研究会編『文学における女性と暴力』福岡女子大学文学部
- 力』福岡女子大学文学部
- ・『イギリス・ルネサンス恋愛詩集』2006.5.30. 大阪教育図書。
- ・『スペンサーとシドニーのエレジー——悲嘆から愈癒へ』2006.6.22. 日本スペンサー協会編、『詩人の詩人 スペンサー』九州大学出版会
- ・『苦手な作家——ジェイムズ・ジョイス』アンケイト・コラム』2006.5.11.『英語青年』六月号
- ◎村長祥子
- ・『中世ヨーロッパの聖女像』2006.3.30. 福岡女子大学文学研究会編、『文学における女性と暴力』福岡女子大学文学部
- ◎宮川美佐子
- ・『ジェイムズ・エルロイ』秘密捜査』の家族像——恐ろしい父と殺される母』2006.3.30. 福岡女子大学文学研究会編『文学における女性と暴力』福岡女子大学文学部
- ◎田上優子
- ・『福岡女子大学での TOEIC (T・P・I) 』
- れまでどこから』『文藝と思想』第70

平成十八年度

人文学系教員研究業績

- 号。
- ・『主体的な学びで養育する動機づけ——部試験の効果的な導入について』『紀要』(九州英語教育学会) 第34号。

◎山口快生

- ・フアigas・I・M クレーク著 山口快生 翻訳・解説『加齢にともなう記憶の変化』『文藝と思想』第70号

◎森 邦昭

- ・『精神科学の科学性と課題』(重訳)(日本テイルタイ協会『テイルタイ研究』第16号)
- ・『わたしメッセーじ』で児童生徒に認識をもたらし道德授業の試み』(福岡市教育センター平成17年度研究紀要第七二二号)
- ・『事実認識をもとに訴えかける道德授業の可能性』(『文藝と思想』第70号)
- ・『ホーナム大学におけるテイルタイ研究——テイルタイ研究所と精神科学の歴史と理論——』

- (日本テイルタイ協会『テイルタイ研究』第17号)
- ◎望月俊孝
- ・『自然のロゴスに沿う建築——タウトの近代日本文化批判』、『技術と身体——日本『近代化』の思想』(木岡伸夫・鈴木貞義編、ミネルヴァ書房、二〇〇六年三月。
- ・『批判的啓蒙の歴史の哲学』、『カント全集別巻 カント哲学案内』、岩波書店、二〇〇六年三月。
- ・『カントにおける技術への問い』『比較文明的のアプローチにおける技術と自然の変容過程序説』

- (平成16年度・平成17年度科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書、研究代表者木岡伸夫)、二〇〇六年三月。
- ◎S・ホルスト
- ・『ドイツのソートリスムの発展と現状』『文藝と思想』第70号2006
- ◎吉田 信
- ・『輝きを放つ、オランダ王室の蒼穹』

WELKOM (ヴェルコム) Vol.1
EXCELLENT ZETHERLANDS
WELKOM VOL.1 (2006年11月17

- ◎日発行)
 ・『グアイシ』政権下の植民地―歴史学研
 究―八一七号、二〇〇六年八月。
 ・『国民の歴史と帝国の記憶―現代フラ
 ンスにおける植民地支配の過去―』季刊
 戦争責任研究』第54号、二〇〇六年十二
 月。
 ◎宮崎聖子
 ・共著『戦後台湾における「日本」―植
 民地経験の連続・変貌・利用』（五十嵐真
 子他編、風響社
 ・『植民地台湾における青年団の変容
 ―1930年代後半の諸制度との関連
 を中心に―』（日本台湾学会報』8号
 日本台湾学会）
 ・『日本植民地下の台湾における青年団の
 終焉―青年学校、勤行報国青年隊、青
 年特別錬成所との関連で（1941-45年）』
 （『南島史字』68号 南島史学会）
 ・単訳 華阿財『牡丹社事件』につい
 ての私見』（台湾原住民族研究』10号
 台湾原住民族研究会）
 ◎張 艶
 ・『中国のペクロ経済と物価変動の分析

- ―経済改革後の中国経済―』単著 成
 文堂 2006年4月
 ・『アジア通貨危機と東アジア諸国の貿易』
 単独報告 アジア政経学会2006年度
 全国大会 慶應義塾大学 2006年10
 月28日
 ・『中国のペクロ時系列データの考察』単
 独報告 中国経済学会2006年度全国
 大会 愛知大学 2006年6月17日
 ・『中国のペクロ経済変数のDGPと構造
 変化』単独報告 日本金融学会2006
 6年度春季大会 早稲田大学 2006
 年4月29日
 ◎松浪 稔
 ・共著『からだ論への扉をひらく』（三井
 悦子編著）、藝文社
 ・共著『最新スポーツ科学事典』（㈱日本
 体育学会監修）、平凡社
 ・単著『「海国」日本のイメージと身体観
 に関する一考察―明治期の少年雑誌に
 おける水泳・海水浴関連記事を手がかり
 として―』
 （JPHIGZ-EN）（日本体育大学大学
 院体育科学研究スポート文化・社会科
 学系稲垣研究室紀要』、第6号）

- ・共著『女子学生の月経の実態に関する
 研究①―初経発来前後および月経周期
 について―』（文藝と思想』第70号）
 ・『これからの健康、これからの余暇』（第
 10回日本余暇学会研究大会）
 ◎篠崎俊子
 ・共著『女子学生の月経の実態に関する
 研究①―初経初来前後および月経周期
 について―』（文藝と思想』第70号）
**平成十八年度
 国文学科卒業論文題目**
 浮世草子の研究―『世間妾形気』巻四の二
 について―
 青木由布子
 『天久保順子』
 赤司佐世子
 『石井 和夫』
 日本語教育の研究―文末表現を中心とする
 誤用分析―
 井川美樹枝
 『川野 靖子』
 現代日本語における類義表現について―程
 度副詞と陳述副詞を中心に―
 井尻奈々絵
 『川野 靖子』
 明治時代の小新聞の研究―『仮名読新聞』